



病 院 局

[病院事業会計] (平成 28 年度予算)

○予算要求総額	32,029 百万円	○収益的収入	24,363 百万円
(27 年度予算額)	28,672 百万円)	収益的支出	25,318 百万円
前年度比	3,357 百万円 11.7%増	差引	△955 百万円
		単年度実質収支	98 百万円

【要求の基本的な考え方】

- 1 収入の確保や費用の削減等に取り組み、病院事業の安定的な経営の維持を目指すとともに、適切な医療提供体制の構築に向け、「新公立病院改革プラン」を策定します。
- 2 がん医療や周産期医療などの充実を図り、救急医療などの充実のため八幡病院の移転改築事業を推進するなど、地域に必要とされる質の高い医療の提供を図ります。

主 要 事 業

「新公立病院改革プラン」の策定

国が示した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、福岡県が策定する「地域医療構想」との整合性を図りながら「新公立病院改革プラン」を策定します。

八幡病院移転改築事業

八幡病院は、施設の老朽化や狭隘化が課題となっているため、平成30年度の開院に向け、移転改築事業を行います。

周産期母子医療の充実

医療センターに併設している総合周産期母子医療センターの運営により、ハイリスクな分娩や高度な治療を要する新生児などへの医療の提供を行うとともに、高度化する医療に対応するため医療機器等の更新を行います。

救急・小児救急医療の充実

八幡病院に併設している、救命救急センターや小児救急センターの運営により、外傷・心疾患など重篤な患者や小児患者への救急医療の提供を行うとともに、高度化する医療に対応するため医療機器等の更新を行います。

総合医療情報システムなどの医療機器の充実

がん医療など地域の医療ニーズに応え、高度で質の高い医療を提供するため、総合医療情報システム（電子カルテ）や内視鏡下手術 3D システムなどの高度医療機器の更新を行います。

地域医療連携の推進

診療所などの地域の医療機関への訪問活動、医療連携会や市民公開講座の開催などを通して、より一層医療連携を推進し、多くの市民へ質の高い医療を提供します。

市立医療センター(小倉北区馬借)



市立門司病院(門司区南本町)



市立八幡病院(八幡東区西本町)



新八幡病院(イメージパース)